

富士市立高等学校 学校運営協議会		第27回	会議要旨 (令和3年度)
開催日 令和3年2月3日 木曜日 開 会 18時30分 閉 会 20時30分	会議場 富士市立高等学校 1階 ワープロ室 * オンラインによる開催		
出席者 【学校運営協議会委員】 畑 隆 一条聖恵 小泉彩子 佐野 明 塩田真吾 寺内誠一 畑 裕美 深澤秀文 岩田 享 ※齋藤しずく委員は、所用のため事前会議に出席 ※茅原由美委員、オブザーバーは所用のため欠席 【教育総務課】 山田英雄 【市立高校教員】 大橋康二 小塩宜浩 寺田典生 見城喜哉 中里 健 小林雄一 望月佑輔 佐野大悟 大森昭仁 杉山秀幸 【市立高校職員】 青木 洋 前田勝巳 齊藤 雅 渡邊貴広 * 敬称略			
開会			
会長挨拶 ・この1年間も新型コロナウイルスの感染が収まらない中、年明けからはオミクロン株が異常な猛威を振るい、富士市立高校も非常に大変な状況ではないか。 ・本日はそうした中での1年間の教育を紹介いただきながら、協議会としての評価を行っていく。ぜひ忌憚のない意見をいただきたい。			
副会長挨拶 ・1月中旬にコロナウイルスが学校でも広がり、一時的に臨時休校を行った。 ・現在は通常通り授業をしており、年度末に向けて有終の美を飾っていく段階。 ・昨年まで2年かけて10年目の検証を行い、今、向こう10年を設計中である。 ・来年度に向けて新しい10年を見据えて学校経営計画を作っていきたい。			

議事の概要

学校からの報告

◇教育活動報告（部活動含む）

- ・本校の取り組みについて、前回の協議会以降のものを報告させていただく。
- ・8月からコロナ感染が大変広がるということがあり、細心の注意をした上で2学期を始めた。
- ・様々な工夫をし、10月には探究発表会や南陵祭体育の部も感染予防に努める形で実施することができた。
- ・海外探究研修に替わる代替研修は、残念ながら中止をせざるを得なかった。
- ・1月に入って感染が再拡大し、現在は制限や対策を取りながら進めている状況となっている。

◇各学科活動報告

【総合探究科】

- ・全学科が集中研修をコロナの関係で8月末から11月末にスライドし、各学科1単位の研修を3日間で集中的に行った。
- ・1年生は例年通りマイナビにお願いし、今年度はリモートで課題解決の研修を3日間練り込んで行った。昨年度から取り組んでいるのが、編集した動画でプレゼンをする活動。生徒はそういうことに慣れていて、今年も上手い子が多かった。
- ・2年生は浜松市にあるJ A A C（日米学術センター）に毎年お願いをし、10人近くの外国人にメンターとして来てもらっている。3日間つきっきりでいてもらって、ずっと英語を話さなければいけない環境で研修を行っている。
- ・3年生はリディラバという会社をお願いし、県内の4か所でSDGs等に関わっている企業に行かせていただき、課題解決の研修をしてきた。
- ・毎年1年生が静岡大学でお世話になっている研修を今年も塩田先生に行っていただきました。

【ビジネス探究科】

- ・1年生は会計研修であずさ監査法人に協力をしていただいた。事前に社員の方に座談会を開いていただき、その模様を流した。校外研修も1日行い、静岡空港と明治の工場見学に出かけた。
- ・2年生は観光ビジネスをテーマに研修を行い、日本平ホテルでテーブルマナーやSDGsの取り組みについての講習を受けた。日本平テラスにも行き、県外から来た観光客の方に魅力を伝えるための取り組みを調査し、校内でプレゼンを行った。
- ・1、2年生合同で日本航空の協力を得て、客室乗務員の方に来校していただき、オンライン工場見学とマナー講座を実施しました。
- ・3年生については、今年度も富士商工会議所青年部の協力を得て、インターンシップを3日間

行った。コロナ対応で企業の皆さんにかなりの負担を掛けたが、生徒は就業体験という枠を超えて、経営者の方の思いを伺うことができた。

【スポーツ探究科】

- ・ 1年生は例年同様カーリング、2年生はゴルフ実習とキャンプ実習を行った。
- ・ 3年生は例年富士登山をやっているが、このような状況で富士山周辺を歩く富士山ウォークを昨年に引き続いて実施した。
- ・ スポーツ探究科では例年体育祭の生徒による運営をやっているが、今年度はそれに加えて、プレー動画の分析や障害者スポーツ等で顕著な取り組みができた。

◇令和3年度進路現況報告

- ・ 資料の1ページ目に1月21日時点での進路の概況を報告している。
- ・ 就職内定者は総数で24人、うち静岡県警に3人合格をいただいている。
- ・ 進学の方は延べ人数で、4年制大学が99人、短期大学が14人、専門学校が63人という状況。ちなみに、本日の時点で4年制大学の進学実数が98人となっている。
- ・ 過去と比較をして、今の3年生は就職希望者が少ない状況がある。例年は30人程度が就職を希望し、パーセンテージも毎年15%前後だが、本年は10%程度である。
- ・ 今後の結果にもよりますが、希望した者が皆4年制大学に進むと、およそ50%が4年制大学に進学するという状況になる。

◇高校版IRの活動報告

- ・ スタートのきっかけは、令和2年1月に本校で行った研修会に桐蔭学園理事長の溝上先生が来られたこと。当時、本校は10年目を迎え、探究学習の効果の可視化が話題となっていた。それを溝上先生に相談したところ、この取り組みの案内を受けた。
- ・ IRは教育にデータ活用し、教育改善に繋げていくという取り組み。そのパイロット校に本校がなった。そこで、まずは「何に向かってデータを集めていくのか」となり、11月の職員研修等で意見交換を行ってきた。ここで話し合ったことを、今後作成する「スクールミッション」や「スクールポリシー」にも生かしていきたい。

質疑応答

(意見・質問等)

・ 総合探究科の2年生の集中研修でイングリッシュキャンプについて、生徒の感想をお聞きしたい。

(回答)

・ 毎年このキャンプを通じて英語をやりたいというスイッチが入る生徒がいる。研修中の生徒の表情は楽しそうで、喜びに満ち溢れているように見て取れた。

(意見・質問等)	<ul style="list-style-type: none"> ・入試に関してコロナの影響はいかがだったか。また、そういったものへの支援について教えていただきたい。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の2年生の時点からのキャリア支援では、子供たちが大学を実際に見に行ったりとか体験授業を受けたりとか、そういう機会が少なかったことは事実。今年に入っても、8月頃からかなりコロナが増えて、なかなかうまくいかなかった。 ・しかし、多くの大学や専門学校が、2年目になってということか、オンラインでの説明会等の様々なツールを使って、子供たちに情報提供していただいた。子供たちもそういったものを上手に活用する習慣を築けていたと感じている。 ・社会全体でどうしたら子供たちがいい形で進路決定できるかということを考えていただいた結果、思っていたよりも苦しまずに、スムーズに志望校を決定して、チャレンジしていく生徒が多かったように感じている。 ・資料の1ページの4年制大学の総合型選抜のところ、国公立に7人チャレンジして6人が不合格と書かれているが、これは果敢にチャレンジした結果というふうに前向きに捉えているか。それとも何か課題があると捉えているのか。
(意見・質問等)	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立に限らずいろんな形で入試にチャレンジした。校長もよく「頑張ったら手が届くところをみんなで目指そうじゃないか」と子供たちに伝えているが、子供たちが頑張ってチャレンジした結果だと思う。自分が努力した自信や色々な人に応援してもらえた感謝の気持ちといったことを感じ、それを非常にポジティブに捉えることができていたのではないか。
(回答)	

学校評価について（資料をもとに、アンケート結果及び評価について説明）

◇生徒、保護者、教職員アンケートの結果について

- ・本年の1月初めから中旬にかけて、全て無記名で実施した。

【生徒アンケート】 *掲載：資料7ページ～

- ・各学年の結果を1年生の時からの数値と比較できるようにした。
- ・内容を見ると、1番の「週に5日以上家で勉強をしている」という数値が、残念ながら年々減少している。3年生では昨年度が56.1%から今年度は49.8%、学校全体でも昨年度55.7%から47.9%と7.8ポイント減少している。
- ・3番の「学校行事に満足している」は、コロナの関係だと思うが、年々数値が減少している。特に2年生は58.9%とかなり低い数値になっている。海外探究研修やそれに代わる国内研修も中止になった影響が出ているかと思う。

- ・ 8 番について、昨年度は「学校で勉強した内容をもっと詳しく知りたいと思う」だったが、今年度は「学校での学びをきっかけにさらに学びたいと思う」に質問内容を変更した。
- ・ 9 番の「本校で外部模試や検定や資格取得にチャレンジできることに満足している」は、3 年生の数値が年々改善されている。英語検定や商業の検定に挑戦し、取得することによって、進路に繋げる生徒も多くなっている。今年度、同窓会で検定に合格した生徒に検定料相当のクオカードを贈呈する取り組みを始めたので、そういったことも影響しているのかもしれない。
- ・ 12 番の「部活動に満足している」は、コロナで制約がある中では良い数値でないかと思っている。3 年生は、令和 2 年度の 69.5%から令和 3 年度は 79.8%と少し改善した。今年度は大会ができたことが影響しているのではないか。
- ・ 13 番の「サテライト学習が役にたっていると感じる」はかなり数値が改善した。今年度は生徒が学びたい内容を学習する形に変えたが、それが良かったかと思う。

【保護者アンケート】 *掲載：資料 9 ページ～

- ・ 5 番の「本校の部活指導は適正に行われている」、6 番の「本校の教職員と保護者間の信頼関係は出来ている」が少し下がったが、コロナの中で保護者が学校に来られない、部活動の大会も無観客で行われている等が影響しているかと思っている。
- ・ 9 番の「本校の学校行事、検定試験等の情報を知っている」も例年と比べると数値が低くなっているため、対策を図りたい。

【教員アンケート】 *掲載：資料 10 ページ～

- ・ 今年度は教科指導に関する質問内容をかなり変えた。こちらについては、来年度以降にどのように変化していくかを見ていきたい。
- ・ 全体を見て特に低い数値のところはないが、24 番の「学級日誌を学級経営に活用している」が 60%台となっているので、こちらは改善していきたい。

◇学校経営報告（学校評価）について *掲載：資料 12 ページ～

- ・ ア「生活及び学習習慣の確立」では、「朝読書の遅刻者延べ数を各学年 120 人以内」に収めようとしたが、12 月 21 日時点で 1 年生が 121 人、2 年生が 83 人、3 年生は 325 人と多くなってしまったので、Cということになった。
- ・ ア「70%以上の生徒が授業に満足していると答えた教員が 80%以上」は 97%で、17%も超えているため A を付けたいが、4 項目の目標に「授業共有フォルダの活用」があるが、それを今年度活用できなかったため、Bとした。
- ・ イ「学校の安心安全と生徒・教職員の健康増進」で、「安全指導カードを 50 件以内、事故を昨年度より減らす」という目標だったが、実際は 1 月 21 日時点で 196 件、事故が昨年度 9 件か

ら 12 件ということで、目標を達成できなかったため、Cとした。これは命に関わるものなので、次年度は十分に気をつけていきたい。

- ・「学校に困ったことや悩み事を相談できる人がいる」は 85%以上という目標が、80.7%で少し下回ったので、Cとした。「信頼できる先生がいる生徒」が約 73%ということで少し低い。新型コロナウイルス感染症で、生徒と先生が行事を通して一緒に何かをしていく機会が少なかったというのも理由の1つと考えている。
- ・工「生徒の自主性、協調性及び目標に向かって挑戦する意欲と態度を育む」では、「道筋を立てて課題を解決する」の目標が 75%を超えているため、Aにした。
- ・「学校行事・部活動に満足している生徒」は 90%の目標に対し、学校行事は約 70%、部活動は 76%だった。コロナ禍で部活動は厳しい状況に追い込まれている中ということを鑑み、評価は Bとした。
- ・スクールバスの目標は 60 人だったが、大淵・厚原線や富士南・中央線は数が出ていない。1 年生の利用者が 17 人あったが、なかなか増えていかず、課題になっている。

学校からの説明に対する意見交換

(質問)	・10 ページの教職員の評価、8 番の「ユニバーサルデザインを意識した教室環境や教材を工夫・改善している」という項目について、大半の項目が 80%前後の高い評価になっているが、この項目に関しては全体が 53.7%、担任の先生方の評価としては 38.9%となっており、この評価の中では著しく低い評価になっている。現在、発達障害を抱えた生徒が年々増加しているという傾向にあり、生徒が学びやすい学習環境を作ることが、学校としては非常に大切な部分ではないかと思うが、この辺りはどのように分析されているか。
(回答)	・多様な生徒が増えている中で、そういう生徒の学習環境をどうするかの話合いを今年 4 回開いたが、まだ始まったばかり。ユニバーサルデザインは、高校ではまだ一般化されていない感がある。低い数字は認知度というのものもあるかと思う。
(意見)	・「黒板の見やすさ」や「先生の説明の聞きやすさ」といったところの意識が低いと、学習に集中できない生徒も出てきてしまっていると感じるところがある。
(質問)	・7 ページの生徒アンケートに関して、「満足していない人たちの声」を拾っているのか。満足していない人たちの理由とかを拾っているのかというのが気になった。全員の声を拾うのは大変だが、その中でも多かった意見、こうだから満足できないという意見が多かったとかというところを知りたい。

(回答)	・アンケートの取り方ですが、各質問項目について1から4で回答してもらう形を取っているのですが、記述の部分は残念ながら用意していない。そのため、満足していない生徒の理由は分析できていない。
(意見)	・学年別、学科別懇談会がコロナの影響で実施できなかったということだが、コロナの影響で実施しないのではなくて、Z o o mでも何でもいいのでオンラインを使ってできなかったのか。ぜひ臨機応変に対応していただきたい。
(意見)	・ホームページはリニューアルされて見やすくなった。見ていて楽しいというところもある。ただ、一部更新がされていなかったり、記事が0の部活動もあったりするので、改善してほしい。
(意見)	・スクールバスは、もう少し違うところにバス停があれば乗ると思う。バス停の見直しをやればもう少し増えるという気がするので、検討していただきたい。
(回答)	・スクールバスは、現在2ルートで運行しているが、基本的にバスは車体が大きいということで通れるルートが限られている。基本的にはスタートから学校まで1時間というところが一番長い時間だろうということで、その中で運行をしている。途中でルートを変えることは難しく、抜本的に変えることも難しいが、こうした意見を参考にしながら、新しいルートも考えていきたい。
(質問)	・このコロナ禍で市立高校は大変工夫されているというのが第一の感想。私の息子の高校では学級閉鎖があり、他のクラスの授業風景を映しているのを授業としている感じだった。市立高校の場合はどのような授業を行っていたのか。
(回答)	・コロナ禍の休校で授業が1週間程度ストップした。午前中だけでしたが、Z o o mを使って行う教員もいた。授業内容については、教室の中央にコンピューターを据えて、カメラを黒板の方に向けて授業を行ったり、生徒とやり取りをしたりしていた。全ての授業をZ o o mでやる訳ではなく、時間割の通りにやったということではなかったが、積極的に授業を行った。
(質問)	・スクールバスの件だが、市立高校なので富士市の学生によりよい交通の便を考えてもらいたいが、その辺はいかがか。
(回答)	・開校時の5便から2便に減っているが、これは7、8年前に貸切バスの費用が掛かるということで縮小していった経緯がある。市内の希望するところを全て回るのはどうしても難しい。基本的には利用者負担2万円ぐらいでやっていて、正直黒字にはならない。自転車で来る生徒が多く、運動部の生徒の利用もなく、スクールバス自体が難しい状況にはなっている。

(意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の受験結果が昨年度より良いのではないかと感じる。そこにやはり探究学習というものがリンクしているのではないかと感じる。生徒が面接でどのような質問を受けて、その回答としてどのようにアウトプットしたのかを蓄積して、次年度以降に生かしてほしい。
(意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・探究学習が非常に生きているに感じる。市立高校の強みを大切にしてほしい。
(意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・進学状況で国公立の合格者が10人となっている。昨年度よりも良い結果が出ているのではないかと思います、Bという評価であるが、B+という感じがする。
(意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページも記事の投稿数も上がって、内容的により良くなっている。学校のPRは、以前から協議会でも出されていた課題で、それがこういう形で具体化されているという点で、B+という感じがする。
(質問)	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車事故が増えているが、内容的にどういった事故なのか。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・事故の内容は、被害が6件、加害が2件、自損4件で、命に関わるような大きな事故は起きていない。下校時も数件あったが、主に朝の通学時に事故が起きている。自転車指導カードも昨年度より大幅に増加したが、学校の対応としては、自動車学校から講師を招いた交通講話や朝の街頭指導を行っている。また、特に増えたのが並走で、昨年度は1件もなかったが、今年度は20件以上になっている。これだけ数が増えていることを真摯に受け止めて、交通指導をしていきたい。
(意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・アの「家庭学習」の数値がよろしくない。評価を変えるという意見は持っていないが、今後に向けてやはり改善に力を入れて取り組んでいただきたい。今後この学習状況だと不安もある。
(回答)	<ul style="list-style-type: none"> ・週5日の学習時間は、学年や学科によってかなり差がある状況。時間を長くやれば良い訳でもないが、週5日以上勉強してほしい。学習習慣が本校の課題である。
(意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・オ「本校が地域に開かれた学校と感じる保護者」が85%という目標に92.3%はかなりプラスなので、評価はAでもいいのではないかと感じる。
(意見)	<ul style="list-style-type: none"> ・「ホームページの更新」に関してはAで良いのではないかと感じる。ホームページはどれだけ見られたかも評価に入れてもいいと感じる。
(結論)	<ul style="list-style-type: none"> ・「保護者が地域に開かれた学校と感じる」のB評価をAに修正する。 ・「ホームページの更新」のB評価をAに修正する。 ・本日出された意見を令和4年度の学校経営計画の参考にしていただきたい。

校長挨拶

- ・いただいた意見を令和4年度学校経営計画やスクールミッション、スクールポリシー、そしてカリキュラムマネジメントに反映させていきたい。
- ・このコロナ禍でも、私たちも課題解決というものを念頭に置き、創意工夫をして生徒の夢実現、保護者の期待に応えられるようにしていきたい。
- ・今年は委員の1期目ということで、来年の2期目につきましても、またご協力をいただきたい。

閉会